

## NACCSプログラム変更要望一覧（2023年度分）（2023年度実施案件）

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R04-012	貨物	ACL01	共通部の合計個数と繰返部の合計個数の不一致チェックを追加してほしい。	共通部の合計グロス重量/容積と繰返部の各コンテナの合計重量/容積の不一致判定は現在運用されているが、個数のチェックは行われていないため、追加してほしい。	共通部の合計個数と繰返部の各コンテナの合計個数が不一致の場合は、送信完了せずエラーとしてほしい。 送信完了後の注意喚起メッセージではなく、訂正処理後の送信が可能となるようにしてほしい。	誤入力防止となる。 入力ミスによる船社・代理店への訂正依頼が減り、海貨および船社の訂正作業にかかる労力・時間削減につながる。 送信前にチェック・訂正が可能となれば、現在入力時に手計算で行っている繰返部の合計個数の確認作業を省くことができ、作業時間の短縮につながる。	ACL01業務の共通部の合計個数と繰返部の各コンテナの個数の合計の一致チェックを行い、差異がある場合は注意喚起メッセージを出力する。
R04-013	貨物	ACL01	共通部2の品名欄毎の個数・グロス重量/容積の合計と合計個数・グロス重量/容積の不一致チェックを追加してほしい。	現在チェック機能がないため、入力ミスにより誤りがある場合は、送信後船社へ訂正手配を行っている。	共通部2の品名欄毎の個数(項番50)・グロス重量(項番57)/容積(項番61)の合計と、合計個数(項番65)・グロス重量(項番68)/容積(項番72)の不一致判定を行い、不一致がある場合はエラーとしてほしい。 送信完了後の注意喚起メッセージではなく、訂正処理後の送信が可能となるようにしてほしい。	誤入力防止となる。 入力ミスによる船社・代理店への訂正依頼が減り、海貨および船社の訂正作業にかかる労力・時間削減につながる。	ACL01業務及びACL02業務の共通部の合計個数/合計グロス重量/合計グロス容積と、品名の繰返し項目にかかる個数/グロス重量/グロス容積の合計の一致チェックを行い、差異がある場合は注意喚起メッセージを出力する。
R04-061	貨物	OLC	保税運送申告DBの保存期間を現行の22日より長くしてほしい。(30日くらい)	MFR時に登録された保税運送申告のデータ保持期間は22日である。	包括承認番号を附番してMFRを登録した貨物情報はPKI/PKK時に自動で包括が起動するようになっているが、MFR後23日以上経過すると起動しなくなり、再度OLCを個別にしなくてはならなくなる。船の動静が遅れることが多々あり、現行の22日以内でPKI/PKKになれないケースが今後も生じうるので保存期間を30日くらいまで延長してほしい。	PKI/PKK時にターミナルからの連絡により慌てて訂正する必要がなくなる。個別の申請を手入力するという業務負担が減る。	PKI業務又はPKK業務時に自動でOLC業務が起動する期間が60日になるよう、MFR業務で作成された貨物に対する保税運送申告DBと関連するDBの保存期間を60日まで延長する。
R04-076	通関	DLI02	マニフェスト通関にも対応できる仕様	マニフェスト申告は対象外	マニフェスト通関にも対応できる仕様	マニフェスト申告分の修正申告作成作業の軽減	DLI02業務で輸入マニフェスト申告に係る許可情報も呼出し可能とする。
R04-088	通関	EDA	大額と少額の型を統一して欲しい	大額と少額の型が別である	大額と少額で入力形式が異なるため統一して欲しい 申告種別欄をしとS選べるようにして欲しい	大額と少額で入力形式が異なるためシステムを2種類作る必要が生じる 少額であっても通関容器の免税申告など2欄にわたって申告したいケースもある	EDA業務、EDA01業務及びEAA業務の大額申告のフォーマットにおいて、輸入申告と同様に少額申告も可能となるように変更する。
R04-116	通関	IDA	海上輸入貨物：NACCSに貨物情報がない場合の入力について	NACCSに貨物情報がなければ本船名など入力が必要がある	航空輸入と同じような使用を要望する	IDA入力時間の削減。	海上のIDA業務の一部入力項目を事項登録時については必須から任意に変更することで、航空と同様に未入力でもIDA業務を実施可能とする。
R04-125	通関	IDA	IDA業務でNACCS欄部の内国消費税種別コードの警告表示設定	IDA業務、NACCS欄部、品目番号欄に入力した品目番号が消費税軽減税率適用可能である飲食品に該当しない可能性のあるHSコードであった場合に、内国消費税種別コード欄に“F3（消費税軽減税率適用）”と入力すると警告が表示されるが、逆に、品目番号欄に入力した品目番号が消費税軽減税率の適用可能である飲食品に該当する可能性の高いHSコードを入力した場合に、内国消費税種別コード欄に“F4（消費税軽減税率を適用しない）”と入力すると警告が表示されない。	IDA業務、NACCS欄部、品目番号欄に入力した品目番号が消費税軽減税率適用可能である飲食品に該当する可能性の高いHSコードであった場合に、入力ミス回避或いは荷主に輸入目的を再確認させるための注意喚起として、内国消費税種別コード欄に“F4（消費税軽減税率を適用しない）”と入力すると警告が表示されるようにしてほしい。	消費税軽減税率を適用すべき貨物であるにもかかわらず、入力ミス等により適用しない（F4）として申告してしまうことを防止できる。	品目番号が軽減税率適用品目、かつ内国消費税等種別コードが「F4」と入力された場合に、軽減税率適用可能な品目番号である旨の注意喚起メッセージを追加で出力する。
R04-165	通関	IDT	IDT情報（内国貨物運送申告）がすぐに消えてしまう。	内国貨物到着先に到着後、短時間で申請情報が消える	到着後一週間ほど参照できるよう猶予を頂きたい。	申請者の確認漏れ防止	内国貨物運送申告DBの保存期間を、到着確認後1週間（7日）に延長する。
R04-202	通関	原産地証明書識別コード	EPA適用除外品目（非譲許物品）の輸入申告において、誤ってEPA税率適用（原産地証明書識別コードを入力）した場合にエラー通知が出るようプログラム変更することを要望する。	EPA適用除外（非譲許物品）になっている品目にも関わらずEPA税率適用という内容で申告自体は可能である。 例えば、RCEP適用除外（非譲許物品）の中国産品（HS:3901.40-019）について、原産地証明書識別コード「RCT4」を入力して申告するとNACCSシステムにおいて自動的に協定税率2.8%が適用されて許可となり、結果として「原産地証明書識別コード」の入力誤りとなる。	現NACCSは、EPA適用除外（非譲許物品）の輸入申告において「原産地証明書識別コード」欄に識別コードを入力した場合でも申告できるシステムとなっているので、EPA適用除外（非譲許物品）の輸入申告において「原産地証明書識別コード」欄に入力のある申告についてはエラー通知が出力されるようプログラム変更をお願いしたい。	EPA税率が適用されない品目の輸入申告に適用できないにも関わらず「原産地証明書識別コード」に入力のある申告については、エラー通知することで「原産地証明書識別コード」の入力誤りを未然に防止することができる。	EPA税率が適用されない品目の輸入申告において、誤ってEPA税率適用時に使用する原産地証明書識別コードを入力した場合にエラー通知が出るよう変更する。
R04-272	その他	画面デザインについて	初期画面にプレビュー枠を設けていただきたいです。	初期画面に業務の履歴がずらりと並んでいますが、個々の内容を確認するには、ダブルクリックで新たな画面を展開する必要があります。	業務履歴の右側にプレビュー枠を設け、業務履歴から内容を確認したい業務にカーソルをあてると、プレビューが表示されるようにいただきたいです。	大量に受送信した情報の中から、特定の情報などを探し出す際に、プレビューが表示されると視覚的に素早く探し出すことが出来ます。	パッケージソフトのメイン画面にプレビューウィンドウを新規追加する。

## NACCSプログラム変更要望一覧（2022年度分）（2023年度実施案件）

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-063	貨物	ICG	経由地でのVAN等未実施	経由地VANの場合、経由地で乙仲がVANが行われないと、搬入先のCYでICGを行えず、パンニング状況を確認できない。	経由地が登録されている場合であっても、搬入先のCYでICGできるようにしたい	貨物情報をより速いタイミングで確認できるようにする。	経由地でVAN業務が未実施の場合であっても、搬入先のCYがICG業務が実施可能となるよう、ICG業務のプログラムを変更する。
R03-258	通関	IIE	IIEで前8桁で検索したら、末番違いも検索結果表示されるようにしてほしい。	IIEで前8桁で検索したら、末尾0000のものしか結果表示されない。 IIEで前8桁で検索した後、再度輸出入者名で検索しなおしている。	IIEで前8桁で検索したら、末番違いも検索結果表示されるようにしてほしい。	会社によっては営業所ごとに末番を設定しているが、末番違いがあるかどうかすぐにわかるようになる。	IIE/IIEOW業務において、支店枝番無しで入力した場合は、前方一致検索を行い、最大20件出力するように変更する。
R03-267	通関	MHA	IS申請中のものは、見本持ち出し申請が不可能。これを可能としてほしい。	IS申請中の場合、見本持ち出し申請はマニュアル申請となる	NACCSによる、見本持ち出し申請の方がはるかに業務効率が高い為	システムで行えば、税関窓口訪問不要となる	蔵入承認（IS）申請中の場合でも、MHA業務による申請を可能とする。
R03-323	海上入出港	WST	コールサイン入力に伴う“船舶呼出”ボタンを作成してほしい	必要事項を全てベタ打ちしている	係留許可申請（WPT）や入出港届（WIT）であるように“船舶呼出”ボタンがあると良い	コールサインの入カミスを減らせる	WST業務の船舶コード欄に「船舶呼出」ボタンを追加し、船舶情報を呼び出し、入力情報を補完するようにする。
R03-333	その他	ACL01	VAE業務の情報をACL業務 CLPへ反映	VAE業務でVAN情報を入力し更に同じ情報をACL業務でCLPを入力している。	VAE情報をACL業務のCLPへ反映してほしい。	現行の半分の時間で済む。	ACL01業務における貨物情報DBからの抽出処理に、CLP情報を追加する。
R03-400	その他		業務エラーをまとめて抽出したい。	エラーとなった業務は、エラーコードが表示されている欄を、一覧を遡って探している。	エラーとなった業務をチェックボックスを設けるなどして抽出できるようにしてほしい。	一覧から効率的に情報を抽出できるようになる。業務を更新中の場合、画面が動いて動作が悪くなるため。	パッケージソフトの電文送受信時に画面更新を停止することにより動作を改善する。